

One to One

NPO中間支援センター スキルアップセミナー開催

宮城県主催のNPO中間支援センタースキルアップセミナー「支援力を高めるために」が、9月12日にみやぎNPOプラザで開催され、県内外からNPO支援センタースタッフや行政職員が集まりました。

講師は、日本のNPO推進の第一人者である社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事兼事務局長の早瀬昇さん。早瀬さんが学生時代から参加されていたボランティア活動や、1995年の阪神・淡路大震災時に、全国から集まったボランティアに対応するために開設したボランティアセンターでの貴重な経験談を織り交ぜ、NPO支援センターの役割や、NPOをより活性化させるための支援のポイントについて学びました。



▲熱弁をふるう講師の早瀬昇さん

NPO支援センターの役割とは？

現在、NPOや市民活動が目される理由のひとつは、「自発的活動」だからこそ必要即応の活動ができること。何かに縛られることなく、自己責任のもと機動性を生かした活動をする

ことで、様々な地域課題(ニーズ)に対応することが可能です。全体の奉仕者であり公平性の原理に基づく行政は、NPOのような多彩なサービス提供を得意としません。その点、NPOは行政

サービスの穴埋め的な役割だけではなく、行政にはできない、自分たち独自のサービスを提供することができるのです。

可能性に満ちたNPOですが、弱点もあります。自発性は揮発性と隣り合わせであったり、独善化やマンネリ化に陥ったり、資金や人材不足から活動が続けられなくなることもよく聞かれる話です。

そこでNPO支援センターは、会議室や活動拠点などの場の提供だけにとどまらず、NPOが孤立しないよう支援者と出会う場や、他のNPOやボランティア(人材)、寄付者、企業や行政、メディアなどとの協働関係づくりの支援が大きな役割となります。このような異質な主体を対等につなげるためには、ネットワーク力が欠かせません。NPO支援センターが多様な人や組織とネットワークを持ち、更に広げる力をつけることは何より重要です。



「支援力」を高めるワークショップ

後半のワークショップでは、3つのグループに別れ、参加者が所属する支援センターの課題を共有し、今後の夢や展望を出し合い、さらに内外の資源を活用した課題解決方法を話し合い、具体的な企画を練りました。

3グループともに共通の話題に上がったのが「より多くの人にNPO支援センターを活用してもらうには」ということ。そのために、地域で活動するNPOを積極的に紹介する、施設が明るくなるような掲示や施設レイアウトを工夫する、情報は寄せられるのを待つだけでなくスタッフ自らの足を使って収集し、併せてネットワークを広げていく、市民や行政や企業を巻き込むためのイベント開催などをNPOに仕掛けていくなど、多数の意見が出ました。

各班の発表後の早瀬さんの講評では、マスコミを通してNPOの情報発信をするには、日頃からマスコミ関係者とのネットワークを持つことが重要という指摘がありました。また、NPOの将来を切り開くような創造的なアイデアは、実は気軽な集まりから生まれることが多いということ、そして、「依存力」

(自分で抱え込むのではなく、人に頼み動かす力)を養い、スタッフ自ら自分を開いていくことが、人脈づくりとNPOの活性化につながるということでした。



大崎 おおさき市民活動のつどい開催

第3回「おおさき市民活動のつどい」が11月9日(日)JR古川駅前(ふるさとプラザ内)大崎市市民活動サポートセンターで開催されます。大崎地域で活動するNPO・市民活動団体及び一般市民が一堂に会して、団体の方々の発表や相互の情報共有など、交流を図る目的で行われます。

内容の一部を紹介すると、障がい児・者福祉サービスの提供活動を行っているNPO法人「くもりのち晴れ」を始め、各市民活動団体が日頃の活動を発表します。NPO法人「鳴子の米プロジェクト」は、「地域の農を地域で支える」と題し、将来もっといろいろな人々と縁を結んでほしいという願いを込めてつくった「鳴子の米・ゆきむすび」が生まれ、法人設立にまで至ったあゆみを、ビデオ放映を交えながら発表します。

「軽食をとりながら、団体交流会や団体紹介ポスターの掲示も行いますので、是非ご参加ください。」と大崎市市民活動サポートセンターの鈴木すみ子さんは呼び掛けています。



▲昨年度の「市民活動のつどい」

第3回「おおさき市民活動のつどい」

- 日 時：11月9日(日) 10:00~14:00
- 場 所：大崎市市民活動サポートセンター
(古川駅前ふるさとプラザ内)
- 対 象：NPO・市民活動団体・一般市民
- 参加費：無料
- 問合せ：大崎市市民活動サポートセンター
TEL：0229-22-2915

みやぎNPOプラザ 新・入居団体紹介

みやぎNPOプラザの事務室に、新しく入居する団体を紹介します。

特定非営利活動法人

みやぎ災害救援ボランティアセンター

阪神淡路大震災をきっかけに、被災者にタイムリーかつスピーディーな対応をするために「みやぎ災害救援ボランティアセンター」を96年に設立。99年にはNPO法人格を取得し、現在では30以上の各種団体・大学・企業とのネットワークを構築しています。

主な活動としては、防災訓練、災害救援訓練、ボランティア養成などを定期的に行い、市民一人一人の防災意識の向上を図っています。また、被災地へのボランティア派遣やボランティアセンターの設置、海外被災地への調査員派遣、募金活動による支援金送付など、国境を越えた活動もしています。

「プラザに入居したことで、施設の利点を活かし、様々なNPOとの交流と情報交換を図りたい。防災に関する情報の発信の場として十分に活用していきたい。」と副代表の伊藤さんは語っています。宮城県沖地震を控えた今、非常に心強い団体の入居となりました。

登米 地域連携交流会・地元NPOの手で開催

11月16日(日)、登米市で、NPOに対する理解促進やNPO同士の交流を目的としたイベント「まつりだ わっしょい！市民活動見本市」が開催されます。

昨年、登米市、地元NPO、みやぎNPOプラザによる実行委員会が、協働で「地域連携交流会」を開催しましたが、今年度は地元NPOが中心となり、実行委員会を立ち上げ企画しました。みやぎNPOプラザが事務局を担っていた昨年度とは違い、今年度は地元NPOが事務局を担い運営しています。毎月、夜に開催され9時過ぎまで及ぶ打ち合わせでは、様々なアイデアが出され、開催に向けた準備が着々と進められています。また、登米市への働きかけにより共催も決定しました。

実行委員長石川志穂子さん(NPO法人どんぐりの家・代表)は「今回のイベントは、登米市のNPOが旧町域を越え、自主的に集まり企画しました。このような、今までになかった取り組みが、新たな活動の展開や出会いにつながっていくことを期待しています。」と意気込みを語っています。



▲昨年度の「地域連携交流会」

「まつりだ わっしょい！市民活動見本市」

- 日 時：11月16日(日) 10:00~
(各コーナーにより時間は異なります。)
- 場 所：登米市中田農村環境改善センター
- 内 容：活動発表コーナー、パネル展示コーナー
飲食コーナー(地元NPOが作った料理を提供。有料。)
- 参加費：無料
- その他：パネル展示を希望する市民活動団体も募集！
11/10 締切
- 問合せ：実行委員会事務局(NPO法人どんぐりの家・石川)
TEL：0220-58-4243

仙台生ごみリサイクルネットワーク

平成11年4月、生ごみリサイクル活動に関心があった有志が集まり、仙台市内の生ごみリサイクルや、生ごみ減量の啓蒙活動を行うために発足しました。会員は40名。各区に相談員を配置してごみ問題に関する相談に対応しているほか、ぼかし作り教室の開催や、仙台市の受託事業として段ボールによる堆肥化出前講座も行っています。このような地道な活動が認められ、平成18年には環境大臣賞を受賞しました。プラザに入居したことで、10月からは「生ごみリサイクルなんでも相談室」を毎週金・土・日の10時~15時迄開設(022-293-9250)「ここを本拠地として、生ごみのリサイクル活動にさらに本腰を入れることになりました。空地を利用して、草を堆肥にしたり、生ごみ堆肥を土に戻して、花や野菜づくりをしていきたいという夢をもっています。環境問題は命の仕組みを知ることにもつながる、おもしろい活動です。ぜひ一緒に活動しませんか」と、事務局の八島さんは熱いメッセージを送ってきました。



市民ラウンドテーブル開催

岩沼市では、市民ラウンドテーブル（市民情報交換会）を毎月第2土曜日に開催しています。「ラウンドテーブル」とは、円卓に座るように肩書き抜きで自由に意見を交わすことで、「岩沼市のまちづくりや市民活動に興味のある方」であれば誰でも参加でき、政治・宗教・営利目的以外の話題であれば、自由に意見を述べ情報交換することができます。



今月で第11回となる市民ラウンドテーブルは、岩沼市さわやか市政推進課がNPO支援の一環として設けたもので、行政の役割は場の設置や広報だけにとどめ、あくまで黒子に徹し、参加者同士が自由に情報交換する場にしたいというもの。参加者は子育て支援、里山保全、男女共同参画、中心市街地活性化など、多様な分野で活動している方々。当初は、市に対する要望や意見に終始していた話題も、回を重ねるごとに参加者にも趣旨が浸透し、自分の団体の活動報告、現在の課題など、様々なものが発表され、参加者同士で話し合い、解決へ導いていこうとする場として活用され始めました。

参加者からは「他の人が、どんな活動で町を盛り上げようとしているのかを知ることができた。」「他団体とネットワークをつくり、活動に幅をもたせたいと思って参加している。いろんな方と知り合いになれてよかった。」「市とのつながりもでき、話しやすい関係ができた。」という声が聞かれました。

さわやか市政推進課課長の安住智行さんは「現在は市が事務局を担っていますが、市民の手で自主的に運営されるようになることを期待しています」と話しています。

市民や市民活動団体にとって、他者の意見や他団体の活動を知ることは、とても有益なこと。しかし、こうした情報交換の場は、少ないというのが現状です。行政による場の提供を通してNPO支援が、今後ますます盛んになることを期待します。

■問合せ：岩沼市さわやか市政推進課 TEL：0223-22-1111（内643）

パソコン要約筆記「文字の都仙台」

「文字の都仙台」は、パソコン要約筆記（パソコンを使用して話し手の言葉を要約・字幕化すること）によって聴覚障害者の社会参加と自立のお手伝いをしている団体です。聴覚障害者が健常者と同じように情報を得ることができれば、両者が一緒に感動し、考え、判断することができるようになります。考え、講演会やイベントの場におもむいて、パソコン要約筆記や、要約筆記奉仕員養成講座で指導などを行っています。

「かねてより事務処理スペースが無く、団体運営が非常に大変でしたが、事務所をお借りすることが出来るようになります。資料や機材の一括管理が出来るようになります。今後、通訳活動がより活発になるように、また、聴覚障害者にとって住みやすい宮城県になるように頑張っています。」と、事務局の山口さんは語っています。パソコン入力が得意で「何かやりたい!」と思っている方は、ぜひお仲間になりませんか? 随時メンバー募集中です。



えぬ・ぴー・おむすび

NPO・O結びサロンの

利用法!

みやぎNPOプラザでは、交流サロンを団体に貸し切る「NPO・O結びサロン」を企画しています。皆様がいっしょに使っている交流サロンを締め切った開催になるため、いくつかの実施条件があり、手続きを踏んでのサロン利用となりますが、NPOセクターへの理解促進や、NPO間のネットワークを組むための場の提供を行っています。では、利用するための条件とは…?

- ✓ **その1 企画内容**
NPOが他団体や他分野とネットワークを組むことを目的とした内容。
- ✓ **その2 貸し出せる団体**
NPO(非営利組織)であれば、法人格の有無や分野を問いません。
- ✓ **その3 参加人数**
参加人数が30名以上を見込まれるもの。
- ✓ **その4 使用料金など**
交流サロンとマイクセットなどが、無料で使用できます(会議室は有料です)また、机10台、椅子100脚が使用できます。
- ✓ **その5 申込方法**
開催希望の2ヶ月前までに所定の様式に記入の上、申込をします。その後、みやぎNPOプラザの指定管理者であるNPO法人杜の伝言板ゆるるが申込書を精査し、10日以内に文書で通知をします。
- ✓ **その6 NPOプラザが広報や当日の会場設営のお手伝い**
開催団体が作成したチラシをNPOプラザ内に掲示の他、みやぎNPO情報ネット・One to One・月刊ゆるる"プラザページ"への掲載もします。また当日の会場設営も協力します。

※他にも実施条件がありますので、詳細は「みやぎNPOプラザ」までお問合せください。



開催事例・1

みやぎイーパーツ リユースPC寄贈プログラム記念講演

10月4日(土)、NPO法人杜の伝言板ゆるるとNPO法人イーパーツ主催で、宮城県内の障がい者のIT化支援を目的とするPC寄贈式が開催されました。応募団体の中から選ばれた7団体への寄贈式の後には、講演会と参加者の交流会が行われました。



開催事例・2

NPOプラザ町内会まつり

NPOプラザ内に入居している団体同士の親睦と、他団体や一般市民との相互理解を深めるために、宮城野区民祭りにあわせて「町内会まつり」を開催します。

宮城のNPO・ボランティア活動を「見て・聴いて・話してみませんか?」手作りパンに、お弁当の販売もあります。お気軽にお立ち寄り下さい。

- 日時：10月19日(日) 11:00~15:00
- 主催：みやぎNPOプラザ町内会
- 共催：宮城県(みやぎNPOプラザ)

●申込：要予約。所属団体名・参加者氏名・連絡先・電話/FAX番号・質問事項などをご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい。
 ●主催：宮城県（みやぎNPOプラザ）●企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる/みやぎNPOプラザ TEL：022-256-0505/FAX：022-256-0533

NPOのための会計講座

わたしにもできるNPO会計・初級講座

～すぐに役立つ効率的な会計処理のコツ～

- 日 時：10月22日(水) 13:30～16:30
- 講 師：平野 由紀子さん(税理士)
- 対 象：NPO、市民活動やボランティア活動団体のメンバーで、会計を勉強したい方、再確認したい方など
- 定 員：20名
- 資料代：800円

次回開催

法人税や源泉徴収について(予定)

- 日 時：12月11日(木) 13:30～16:30
- 講 師：小山 かのるさん(税理士・公認会計士)

NPOマネジメント講座

達人に学ぶ エクセル講座

- 日 時：11月26日(水) 13:30～16:30
- 講 師：田中 亨さん
(office TANAKA代表/マイクロソフトMVP for Excel)
- 対 象：NPOに所属し、ある程度エクセルの基本的操作ができる方。
- 定 員：30名
- 参加費：2,000円(参加費)

ボランティア情報サロン

NPO・ボランティア情報サロン 音楽・イベント好き集まれ!

- 日 時：10月19日(日) 14:00～16:00
- 会 場：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 参加費：500円
- 今月お話を下さる方
玉川 裕さん (定禅寺ストリートジャズフェスティバル実行委員)

次回は…11月21日(金) 14:00～16:00
 12月12日(金) 18:30～20:00 に開催します。

専門相談会

■労務相談……………10月16日(木)

相談対応：社会保険労務士 猪狩慎一さん
 ※10月の次の開催は12月になります。

■会計・税務相談……………10月31日(金)

11月28日(金)
 相談対応：税理士 平野由紀子さん

■法人設立・運営相談…毎週水曜日

相談対応：NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事 大久保朝江さん

- 時間：13:00～17:00
- 定員：各3団体(相談時間：1団体1時間程度)
 ※事前予約が必要です。(申込締切：開催日の6日前)

NPOマネジメントセミナー

主催：宮城県 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる

事例から学ぶ! NPOと行政との協働のあり方

■講 師：田尻 佳史さん ■資料代：無料

- 日 時：10月30日(木) 14:00～16:00
- 場 所：宮城県自治会館9階(研1・2)

ボランティアが生き活きできるコーディネート講座

■講 師：後藤 麻里子さん ■資料代：500円

- 日 時：11月29日(土) 14:00～17:00
- 場 所：気仙沼中央公民館

- 日 時：11月30日(日) 13:00～16:00
- 場 所：登米市迫公民館大会議室

事例から学ぶ! NPOと企業との協働

■講 師：岸田 眞代さん ■資料代：無料

- 日 時：12月6日(土) 14:00～17:00
- 場 所：宮城県北部地方振興事務所 大会議室

- 日 時：12月7日(日) 13:30～16:30
- 場 所：石巻文化センター

NPO法人杜の伝言板ゆるる

TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327

問合せ
申込先

■新規のNPO法人認証団体(平成20年8月～平成20年9月末日まで)

団体名	所在地	活動内容
まなびのたねネットワーク	仙台市青葉区	キャリア教育支援事業等
栗原飛行場を活用する市民の会	栗原市	栗原飛行場(栗原市瀬峰)の有効利用による産業の発展・市民生活の安全確保・文化・教育への寄与
yui	仙台市若林区	住民及び親子を対象とする交流イベントの企画・運営支援事業、学童を対象とした自然を活用する情操教育事業等
あそびの社	仙台市宮城野区	保育園運営事業
鳴子の米プロジェクト	大崎市	鳴子の米の作り手と支え手のネットワークづくり、鳴子の食の開発・提供等
グレープGrapes	仙台市青葉区	介護事業、有償ボランティア活用による高齢者生活・労働支援事業
ロージーベル	仙台市青葉区	子どもの更生支援に関する事業

One to One

発行日：2008年10月15日
 発行：宮城県民間非営利活動プラザ
 編集：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
 TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
 e-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
 URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

2008
OCTOBER
vol.46

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。